

第145号

2023年 4月 1日

長野 教弘だより

[編集・発行]

公益財団法人
日本教育公務員弘済会長野支部
TEL026(224)0611
株式会社 長野教弘
TEL026(224)0844

〒380-0836長野市南長野南県町999-18
不動産会館ビル



ホームページ URL <https://www.nagano-kyoko.jp>



佐久市立青沼小学校

も く じ

日教弘長野支部70周年にあたって … 2 ページ	教育研究・個人研究助成者一覧 …… 7 ページ
参事紹介・地区担当 …………… 3 ページ	日教弘70周年記念事業
退任・新任参事のご挨拶 …………… 3 ページ	特別支援学校教育支援事業 …………… 8 ページ
ボランティア活動助成 …………… 3 ページ	地域連携教育助成 …………… 9 ページ
日教弘教育賞 …………… 4 ページ	芸術鑑賞助成事業 ……………10ページ
東京海上日動教育振興基金 …………… 4 ページ	2023年度教育カレンダー ……………11ページ
教育研究助成事業報告 …………… 5 ページ	プレゼント ……………12ページ
教育研究・学校研究助成校一覧 …… 6 ページ	表紙学校紹介 ……………12ページ

日教弘長野支部70周年にあたって



公益財団法人
日本教育公務員弘済会長野支部
支部長 **藤田茂樹**

希望にあふれる春、教職員の皆様におかれましては新たな決意をもって新年度をお迎えのことと拝察いたします。

日頃より弊会事業推進に、ご理解とご協力をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

皆様のおかげをもちまして、昨年度の日教弘創立70周年に続きまして、今年度は長野支部創立70周年を迎えます。今年度は、昨年度までの2年間で公立小学校（小学部）を一巡しました「読書活動助成事業」を、北信地区と南信地区の公立中学校（中学部）で実施いたします。

また、昨年度内定いたしました大学生給付奨学生への4年間の奨学金給付を開始いたします。さらに、高校生給付奨学金事業の拡大など、現場の先生方のご要望を反映した内容として充実をはかっていきます。

今年度も「最終受益者は子どもたち」との理念の下、「教育、文化の向上、発展に寄与するとともに、教育関係者の福祉向上を図る」ことを、諸事業の実施を通して真摯に追求していく所存です。

末筆になりましたが、皆様のご健康を祈念して、年度当初のご挨拶とさせていただきます。

安心支える「たすけあい」の輪

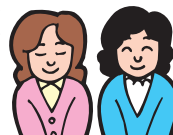
最終受益者は
子どもたち



学 校



教職員の皆さま



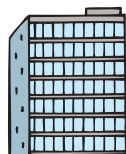
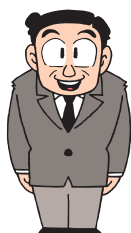
【公益性】

- 各種公益事業
- 教育振興事業
- 福祉事業

【共済性】

- 教弘保険加入と
- 保険金の支払い

教弘保険



公益財団法人 日本教育公務員弘済会

70年以上に及ぶ提携関係



ジブラルタ生命保険(株)

参事のご紹介

日頃、学校にお伺いしております当会参事です。主な担当地区は下記のとおりですが、同じ地区内でも担当参事が異なる場合があります。それぞれご挨拶に伺いますので、よろしく願いいたします。



高橋 信一郎

飯水・中高・
長野・上水内・須高



佐久間 茂

長野・更埴



原沢 浩

佐久・上小



新任

栗山 嘉章

大北・安曇野・
松本



池田 秀司

諏訪・塩筑
上伊那



岩瀬 晴雄

上下伊那・木曾

退任のごあいさつ

板花 淳志 (大北・安曇野・松本・木曾担当)



各校の先生方におかれましては、新学期を迎えお忙しい日々をお過ごしのことと存じます。新型コロナウイルス感染の影響が完全終息に至るにはまだ時間がかかるものと思われまます。今後もしもご自愛いただき児童生徒をお導きください。

私事で恐縮ですが、この度五年間の参事勤務を終え退職することとなりました。この間多くの助成事業にご協力を賜りましたこと、また私やジブラルタ生命保険株式会社ライフプラン・コンサルタント(LC)の学校訪問に

際してはいつも温かくお迎えいただいたことに対し深く感謝申し上げます。

(公財)日本教育公務員弘済会の基本理念の一つに〈最終受益者は子どもたちである〉というものがあります。この理念は、思想家丸山眞男の言のごとく「であること」ではなし崩しとなり、「すること」によってのみ維持発展させることができると考えます。

長野支部がこの理念に真に相応しい組織として成熟していくことを祈念します。

新任のごあいさつ

参事 栗山 嘉章



この度、日本教育公務員弘済会長野支部の参事としてお世話になります栗山嘉章と申します。主に大北、安曇野、松本地区の担当として各学校にお伺いさせていただきます。

令和2年からの新型コロナウイルス感染症の拡大によって児童、生徒、保護者、教職員の皆さまは、教育活動に様々な制限を受け、大変な日々であったことと思います。そのような中でも児童、生徒のことを第一に考え、不断の教育活動を進めてこられた先生方に敬

意を表します。

そのような中でこそ「教育、文化の振興」と「教職員の相互扶助」を理念のもと、児童、生徒たちのために活動している日本教育公務員弘済会長野支部の各種事業を一人でも多くの先生方や児童、生徒の皆さんに活用していただきたいと考えております。新任で微力ではありますが、一生懸命、取り組んで参りたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

ボランティア
活動助成
370校に 370万円



社会活動としてボランティア活動(年3回以上)を行っている小学校・中学校・高等学校・特別支援学校に対して助成金を交付しました。

要項規程では「年5回以上」での申請受付としていますが、新型コロナウイルス感染拡大の中で、ボランティア活動が計画通りに進まない状況を考慮して、今年度に限り「年3回以上」で申請を受け付けました。

選考委員会での選考、幹事会決定により370校に370万円を助成しました。各地区担当参事が学校にお届けしました。

おめでとうございます

2021年度長野支部の教育研究助成事業に応募いただいた研究論文の中から、優秀作品を日本教育公務員弘済会の2022年度「日教弘教育賞」と、東京海上日動教育振興基金の2022年度「教育研究助成」に推薦したところ、全編入賞されました。

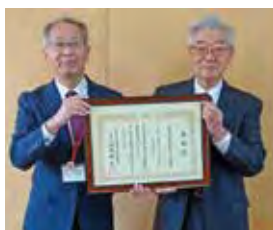
日教弘、東京海上日動教育振興基金に代わって、当会参事が賞状と賞金をお届けし、表彰いたしました。受賞論文は、準備が整い次第、当会ホームページにて公開します。

★ 日教弘教育賞

優良賞【学校部門】

長野市立長沼小学校

「経験値をベースにしながら歩む防災・減災教育」
～地域・有識者・各種団体とつながる学び・活動を通して～



市川英臣校長 佐久間参事

奨励賞【学校部門】

小川村立小川小学校

「全職員が全校児童を指導・支援・見守る『多様な学び』の創造」
～「ローテーション」「シャッフル」が生み出す多様な価値観との出会いを通して～



永井宏樹校長 高橋参事

奨励賞【個人部門】

長野県若槻養護学校 津瀬 直彦 先生

「場面緘黙の改善を目指した支援事例について」
～具体的な支援とその経過～



左から
佐久間参事
津瀬直彦先生
小松恭子校長
大野技教頭

★ 東京海上日動教育振興基金

【学校部門】

御代田町立御代田中学校

「学びに向かう力を高める授業づくりに向けて」
～専門外の先生方と“技術科「双方向通信」の題材”に取り組んで得られたこと～



依田俊一校長 木下智宏教頭

【学校部門】

東御市立北御牧小学校

「主体的に音と向き合い、仲間と共に音楽をつくる喜びを感じることが出来る音楽づくりにおける授業実践研究」
～2・3・4学年における音楽づくりの学習を通して～



牛越宏江校長

【個人部門】

駒ヶ根市立東中学校 仙波 歩 先生

「国語科における“自らの学習を調整する”生徒の育成を目指した【振り返りシート】の研究」
～生徒の記述の変容に着目して～



左から 岩瀬参事 仙波歩先生
三ツ井邦仁校長

【個人部門】

諏訪市立諏訪中学校 宮坂 千鶴 先生

「横断的図書館利用の推進」
～個々の対応を基本として～



左から 根橋ほなみ校長 宮坂千鶴先生
池田参事

2022年度 教育研究助成事業報告

第一次教育研究論文審査会報告

第一次審査委員長 **野本 仁**
(長野県校長教頭組合 執行委員長)



2022年度第一次教育研究論文審査会は、2023年1月24日(火)ホテル信濃路を会場に6人の審査委員によって行われました。本年度の研究論文の応募総数は、学校研究81編、個人研究87編、合計168編で、昨年度より28編の減でした。新型コロナウイルス感染症への対応等、多くの教育課題に向き合う学校現場で研究を推進し、論文としてまとめていただいたことに敬意を表します。

学校研究では、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」やICTを活用した「個別最適な学びと協働的な学びの充実」をテーマとした研究等新たな時代のニーズに応える実践、長野県の課題である小規模校の良さを活かした実践研究なども多数応募いただきました。

個人研究においても、子どもの願い達成や課題解決に向けた実践、ICTを有効活用した授業実践、個の支援や授業作りに関わる特別支援教育の実践に関する論文を多く応募いただきました。

第一次審査においては次の項目を審査の観点としました。①「論文の内容が『研究テーマ・研究のねらい・研究の経過と内容・研究のまとめ』の各項目に沿って具体的かつ簡潔に記述されているか」②「論旨が明快で筋が通っているか」③「実践に裏付けられているか」④「創造的で具体的であるか」⑤「研究内容が魅力的であり、容易に活用できるか」⑥「表現力が優れているか」の6項目です。応募いただいた学校・個人研究論文全てについて、観点に沿って評価し、その中から優れた論文として学校研究18編、個人研究18編を第二次審査会に送ることを決定しました。今年は、指定された形式に沿った論文や写真や図表などを効果的にバランス良く配置している論文も増えてきました。

第一次審査では、審査委員から次のような感想・意見が出されました。

○「子どもの実態から子どもの願いや課題を据え、願い達成や課題解決のための実践、子どもの成長を含めた成果と新たな課題について、一貫した研究としてまとめられている。」○「ICTの有効活用、働き方改革と学校運営、小規模校の良さや強みを活かした実践等、現在の教育課題を反映している内容について、取り組み状況がわかりやすく記述されている。」○「特別支援教育の実践では、実際の支援方法や授業作りについて、子どもの学びの姿と結びつけながら追究している。」など、『子どもの育ちが見える』論文に高評価がつけました。

一方で、◇「研究テーマと実践の結びつきに無理があったり、実践や活動の報告に終わったりしている。」◇「語句の使い方が正しくない。」など、研究論文として限られた紙面の中のまとめ方についても一層努力されることを期待します。

テーマや課題をもって日々子どもたちと向き合い、実践・研究を重ねた成果を発表することは、教育力の向上につながります。貴重な論文を提供していただいた先生方に感謝申し上げますとともに、今後ますますの研究の充実を祈念します。

第二次教育研究論文審査会報告

第二次審査委員長 **茅野 公穂**
(信州大学教育学部教授)



教育研究助成事業の第二次教育研究論文審査委員会を、2023年2月1日(水)ホテル信濃路にて開催し、7名の審査委員が審査にあたった。第一次審査を通過した学校研究18編と個人研究18編の論文から、優れた論文を前者から7編、後者から7編選出した。

審査の主な観点は、以下の通りである。①教育課程上適切に位置づけられ、授業の改善に資するものとなっている、②子どもの主体的な変容・発達の姿が見られる、③理論と実践が一体となった研究である、④研究内容は価値が高く、他の学校でも活用できる、⑤論旨が明快で、実践に裏付けられ具体的かつ簡潔に記述されている、⑥創造的、魅力的である。これらの観点に基づき各審査委員が論文を審査・評価し、その結果を踏まえて全員で論文の評価を確定した。さらにその評価に基づき、日教弘教育賞と東京海上日動教育振興基金への推薦論文を以下のように決定した。

日教弘教育賞への学校研究部門には、阿南町立富草小学校『災害を自分ごととしてとらえ、自ら判断して行動する子ども～地域とつながり、楽しく学ぶ防災教育～』、長野市立篠ノ井西小学校『学校行事改革への取り組み—その価値と課題— 篠ノ井西小学校における2つの実践から』の2編が選ばれ、個人研究部門には、林秀星さん(駒ヶ根市立東中学校)『技術科における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実～Googleサイトを用いた自由進度学習』の1編が選ばれた。また、東京海上日動教育振興基金への学校研究部門には、塩尻市立吉田小学校『姿勢指導のこころみ～子どもの意識を高めるために～』、長野県安曇養護学校『将来の豊かな生活に向けて～キャリア教育の充実～』の2編が選ばれ、個人研究部門には、池田淳子さん(上田市立本原小学校)『知的障害児童におけるマルチメディアデイズ教材の有効性について』、林康成さん(長野市立南部小学校)『学校周辺の地上画像を取り入れた天体シミュレーションの視聴による星の日周運動の理解向上』の2編が選ばれた。

応募いただいた教育研究論文は、今日的な教育課題、例えばGIGAスクール構想や令和の日本型学校教育、インクルーシブな教育、防災・減災教育、その地域ならではの題材を取り入れた教育、学習者主体の教育、働き方改革などの実現にそれぞれ真摯に向き合っている。また、子どもの具体的な学びの姿を含めた実践事例に裏付けられた成果を、知見や提案としてまとめている。さらに、単年ではなく複数年に渡って積み重ねた研究や、学校部門では養護教諭や事務職員を含めた学校一丸となった取り組み、さらに地域の方々との連携、寄宿舎や博物館での教育研究の展開と、期間や組織に広がりが見られる。論文に収録された日々の営みは、子どもの気持ちにもっと寄り添い、子どものことをもっと理解し、その子どもたちのためにもっとよい教育をしたいという願いを実現しようと積み重ねたものである。

教育研究の過程では、事例に留まらず教育観や子ども観なども関係者間で共有されたことと推察する。さらに論文を通して広く他者と、事例とともにその成果と課題を共有しようとしている。いずれもさらなる教育の充実のために他者との対話を通して「私」や「学校」を更新し、広げることにつながる。論文に記された成果に留まらず過程の意義もかみしめたい。

2022年度 学校研究 助成校一覧

優秀論文 7 校 以下順不同

	学 校 名		学 校 名		学 校 名
優 秀 論 文	阿南町立富草小学校	28	飯田市立座光寺小学校	55	飯山市立常盤小学校
	飯田市立上久堅小学校	29	飯田市立竜丘小学校	56	飯山市立戸狩小学校
	塩尻市立吉田小学校	30	飯田市立鼎中学校	57	飯山市立東小学校
	須坂市立豊丘小学校	31	阿智村立浪合小学校	58	飯山市立木島小学校
	長野市立篠ノ井西小学校	32	平谷村立平谷小学校	59	飯山市立城南中学校
	長野県安曇養護学校	33	天龍村立天龍中学校	60	長野市立山王小学校
	長野女子高等学校	34	大桑村立大桑中学校	61	長野市立緑ヶ丘小学校
8	川上村立川上第二小学校	35	塩尻市立塩尻西部中学校	62	長野市立三輪小学校
9	小海町立小海小学校	36	塩尻市辰野町中学校組合立両小野中学校	63	長野市立篠ノ井東小学校
10	南相木村立南相木小学校	37	麻績村立麻績小学校	64	長野市立裾花中学校
11	佐久市立望月中学校	38	安曇野市立穂高西小学校	65	小川村立小川小学校
12	小諸市立小諸東中学校	39	小谷村立小谷中学校	66	松本市立山辺小学校
13	御代田町立御代田中学校	40	坂城町立村上小学校	67	松本市立芳川小学校
14	上田市立西小学校	41	千曲市立上山田小学校	68	松本市立筑摩野中学校
15	上田市立神科小学校	42	千曲市立戸倉小学校	69	長野県長野盲学校
16	上田市立長小学校	43	長野県屋代高等学校附属中学校	70	長野県長野ろう学校
17	上田市立第六中学校	44	須坂市立旭ヶ丘小学校	71	長野県長野養護学校
18	上田市立真田中学校	45	須坂市立相森中学校	72	長野県稲荷山養護学校
19	青木村立青木中学校	46	中野市立中野小学校	73	長野県松本盲学校
20	岡谷市立岡谷田中小学校	47	山ノ内町立山ノ内中学校	74	長野県松本ろう学校
21	岡谷市立岡谷東部中学校	48	木島平村立木島平中学校	75	長野県花田養護学校
22	伊那市立伊那西小学校	49	野沢温泉村立野沢温泉中学校	76	長野県飯山高等学校
23	伊那市立手良小学校	50	栄村立栄小学校	77	長野県上田高等学校
24	伊那市立西春近北小学校	51	栄村立栄中学校	78	長野県小諸商業高等学校
25	駒ヶ根市立東中学校	52	飯山市立秋津小学校	79	長野県佐久平総合技術高等学校
26	阿南町立新野小学校	53	飯山市立飯山小学校	80	長野県松本筑摩高等学校
27	飯田市立追手町小学校	54	飯山市立泉台小学校	81	長野県池田工業高等学校



豊丘小学校(須坂市)
中沢校長 高橋参事



長野県池田工業高等学校
高橋先生 武居校長

(敬称略)

2022年度 個人研究 助成者一覧

優秀論文 7名 以下順不同

	学 校 名	名 前		学 校 名	名 前		学 校 名	名 前
優 秀 論 文	清明小学校	内藤 大貴	31	島内小学校	田上 達人	61	長野県松本ろう学校	宮崎ゆず葉
	本原小学校	池田 淳子	32	清水中学校	齋藤 文男	62	長野県松本ろう学校	関 徹也
	東中学校(駒ヶ根市)	林 秀星	33	明善中学校	松本 拓也	63	長野県松本ろう学校	北條めぐみ
	南部小学校(長野市)	林 康成	34	高瀬中学校	横手 健二	64	長野県安曇養護学校	三溝 浩章
	長野県飯田養護学校	小室 惟	35	麻績小学校	下嵯 優香	65	長野県安曇養護学校	内山 敏和
	長野県松本養護学校	小平 敏	36	麻績小学校	草間 隆志	66	長野県安曇養護学校	中村 美香
	戸隠地質化石博物館	田辺 智隆	37	古里小学校	原 央	67	長野県稲荷山養護学校	牛越 康之
8	川上第一小学校	鈴木 海平	38	若槻小学校	山中 誠	68	長野県稲荷山養護学校	鶴田 恵市
9	岩村田小学校	西澤 泰子	39	豊栄小学校	宮入 博	69	長野県稲荷山養護学校	浅野 亮
10	立科小学校	東川 春菜	40	豊栄小学校	上原 茉莉	70	長野県稲荷山養護学校	高木 春香
11	中込中学校	荻原 忍	41	真島小学校	神尾理恵子	71	長野県長野盲学校	柳澤 英子
12	小諸東中学校	北原 憲康	42	小川小学校	吉川 萌	72	長野県長野盲学校	早川 澄雄
13	御代田中学校	花岡 直美	43	犀陵中学校	鈴木 崇	73	長野県長野盲学校	藤岡 菜摘
14	御代田中学校	吉田 至	44	七二会中学校	酒井 文子	74	長野県長野ろう学校	小泉 和正
15	田中小学校	瀧澤 幸治	45	南条小学校	佐藤 萩	75	長野県長野ろう学校	中村 佑夏
16	伊那小学校	原 宏典	46	村上小学校	柄澤 俊彦	76	長野県長野ろう学校	増澤 映美
17	伊那西小学校	高橋 玲子	47	戸倉小学校	服部 伸也	77	長野県長野ろう学校	坂口由貴子
18	伊那西小学校	有賀 大	48	日野小学校(須坂市)	新井 孝之	78	長野県長野ろう学校	黒澤 美怜
19	富県小学校	小出 豊	49	高丘小学校	倉田 勝彦	79	長野県長野養護学校	和田 洋明
20	赤穂南小学校	氣賀澤重夫	50	高社中学校	水本 弾	80	長野県長野養護学校	竹村 万里
21	箕輪中学校	藤井 篤徳	51	中野平中学校	小林 優城	81	長野県長野養護学校	前原 瑞木
22	宮田中学校	倉科 宗和	52	東小学校(飯山市)	早川 祐人	82	長野県長野養護学校	伊藤 美紀
23	東中学校(駒ヶ根市)	鈴木 雅美	53	栄中学校	千野 美奈	83	長野県長野養護学校高等部	すざか分教室 佐藤 真吾
24	下諏訪中学校	南波 秀治	54	長野県諏訪養護学校	小坂 令子	84	長野県須坂東高等学校	中俣 里美
25	和合小学校	高本誠二郎	55	長野県諏訪養護学校	宮下 修	85	長野県長野西高等学校	田本 明子
26	新野小学校	野村 修治	56	長野県花田養護学校	奥原 悦子	86	地球環境高等学校	小池 伸明
27	座光寺小学校	金森 晴彦	57	長野県飯田養護学校	林 愛	87	上田創造館	茨木 信行
28	浪合小学校	濱島 良太	58	長野県飯田養護学校	寺島健太郎			
29	阿智中学校	岩崎 宏紀	59	長野県松本盲学校	丸山 晴美			
30	天龍中学校	白鳥 京志	60	長野県松本ろう学校	北間 幸子			



長野県松本ろう学校(個人研究・学校研究)
左から 北間先生 宮崎先生 北條先生
五味校長 山岡先生(学校研究)
関先生

日教弘70周年記念事業

日教弘
70周年
記念事業

特別支援学校教育支援事業

特別支援学校20校に、一校20万円以内の助成

上記日教弘70周年記念事業への申請にもとづき、選考委員会の選考と幹事会決定を経て、長野県内の特別支援学校20校全てに対して一校20万円(以内)の教育図書・教材・教具の助成を行

いました。該当校からは、多くの感謝の声をお届け頂きました。

いくつかの学校の贈呈式の様子を掲載します。



須坂支援学校子どもたちへの贈呈式



長野県木曾養護学校
岩瀬参事 土井田校長

【助成校】

- 1 長野県小諸養護学校
- 2 長野県上田養護学校
- 3 長野県諏訪養護学校
- 4 長野県花田養護学校
- 5 長野県伊那養護学校
- 6 長野県飯田養護学校
- 7 長野県木曾養護学校
- 8 長野県安曇養護学校
- 9 長野県稲荷山養護学校
- 10 須坂市立須坂支援学校
- 11 長野県飯山養護学校
- 12 長野県長野盲学校
- 13 長野県長野ろう学校
- 14 長野県長野養護学校
- 15 長野県若槻養護学校
- 16 信州大学教育学部
附属特別支援学校
- 17 長野県松本盲学校
- 18 長野県松本ろう学校
- 19 長野県松本養護学校
- 20 長野県寿台養護学校



長野県須坂支援学校
竹村校長 高橋参事



長野県飯田養護学校
浦野校長 岩瀬参事



長野県諏訪養護学校
池田参事 森先生 中原校長



長野県上田養護学校
星合教頭 鈴木校長



長野県小諸養護学校
小林教頭 宮下校長



長野県稲荷山養護学校
左から 小林先生 宮田先生 塚口先生
高坂教頭 池内校長 鶴田教頭
小倉先生 西澤先生

地域連携教育助成

地域連携助成8件に80万円の助成

「学校教育・社会教育等の分野において、地域と子ども達が共に関わり、教育・社会・文化の向上発展に寄与すると認められる有益な活動」に対する助成事業として申請を受け付け、選考委員会での選考、支部幹事会決定を経て、8校に80万円を助成しました。

申請団体	テ ー マ
長野県蓼科高等学校	地域を学び課題解決や活性化に貢献する探究的な学びを通して、自己のあり方を見つめ未来の社会を創造する
佐久穂むかしたんけん館 友の会	佐久穂町の「社会教育」と「学校教育」の融合〈社学融合〉
湖東の教育を語る会	湖東小学校と協力し児童による米作りや野菜作りを実施。畑に向かうための橋の掛け替えと田畑の土壌改善を行いたい
奈川小学校	奈川小学校150周年記念式典における、学校・地域でつくり上げるカホンの演奏会の開催
旭町小学校	「あさひカフェ(地域と学校との交流拠点)」を軸にした「地域にひらかれた学校づくり」の検証
堀金小学校	地域の宝である拾ヶ堰の清掃作業を地域の方と共に行うことを通して、協力して目標を達成することの良さに気づくとともに、公共のために役立つという喜びを味わう
小谷中学校	地域のヒト・モノ・コトを題材に地域とつながりふるさとを大切に思い、貢献しようとする生徒を育てる
桜熊館	地域密着型の運動クラブにおいて、他スポーツクラブと連携していくことで柔道を生涯スポーツとして伝統化していく



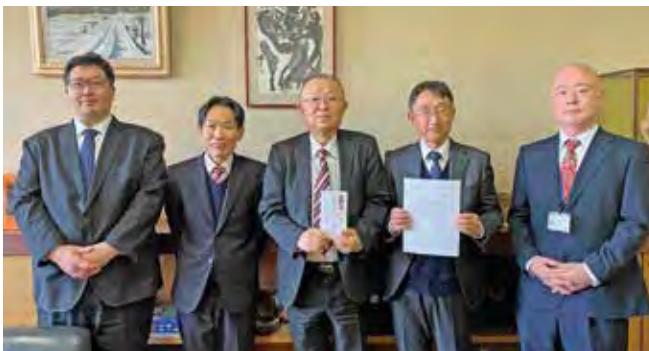
長野県蓼科高等学校

左から 三石先生 吉澤校長 山際教頭
原沢参事



佐久穂むかしたんけん館

左から 友の会 佐々木さん 友の会会長 市川さん
館長 新涯さん



湖東の教育を語る会

左から 北澤主事 池内教頭 牛山会長
植松校長 池田参事



奈川小学校

左から 高橋小学校教頭 坂花参事
坪田校長 小町谷中学校教頭

2023年度 芸術鑑賞助成事業のお知らせ

下記公演の鑑賞を希望される皆様は、記載している自己負担金のみで鑑賞できるチャンスですので、ご応募をお待ちしています。

公演A フォーエバーヤング（海援隊、山崎ハコ、沢田知可子）

- ①日時・会場…2023年6月18日（日） 15：45 開場 16：30 開演 メセナホール（須坂市）
②料金…自己負担金2,000円（6,000円の所4,000円助成）
③優待…60名 ※未就学児入場不可

公演B 千住真理子ヴァイオリンリサイタル

- ①日時・会場…2023年7月8日（土） 13：15開場 14：00開演 軽井沢大賀ホール
②料金…自己負担金2,000円（S席5,000円の所3,000円助成）
③優待…40名 ※未就学児入場不可

公演C ウクライナ国立バレエ「スペシャル・セレクション2023」

- ①日時・会場…2023年7月29日（土） 13：30開場 14：00開演 長野市芸術館メインホール
②料金…自己負担金3,000円（全席指定7,000円の所4,000円助成）
③優待…50名 ※3歳以下入場不可

公演D 丸美屋食品ミュージカル「アニー」

- ①日時・会場…2023年8月5日（土） 14：15開場 15：00開演 まつもと市民芸術館主ホール
②料金…自己負担金3,500円（S席8,300円の所4,800円の助成）
③優待…100名 ※4歳未満入場不可

公演E ブロードウェイミュージカル「ピーター・パン」

- ①日時・会場…2023年8月19日（土） 11：15開場 12：00開演 サントミュージゼ大ホール(上田市)
②料金…自己負担金3,500円（S席8,900円の所5,400円の助成）
③優待…50名 ※3歳以上の鑑賞を推奨します

☆応募締切…**公演A～E：2023年5月15日（月）必着**

☆応募先……日本教育公務員弘済会長野支部 〒380-0836 長野市南県町999-18 不動産会館ビル2F

☆応募方法…

★必ず往復ハガキでご応募ください。返信用にて抽選結果をご通知します。

★往信用に①氏名(フリガナ) ②郵便番号 ③住所④電話番号 ⑤希望公演名(アルファベットA～Eの記載でも可) ⑥勤務学校名 ⑦希望枚数(2枚以内)を記載、返信用宛名面にご自身の郵便番号・住所・氏名(様)を記入して、教弘事務局まで郵送して下さい。

★当選者は自己負担金をご送金ください。詳細は当選ハガキにてご連絡します。入金確認後にチケットを発送します。

《注意事項》

※応募は、往復ハガキ1枚につき1公演に限ります。

※応募者多数の場合は抽選になります。

※**不備・記入漏れがある場合、または往復ハガキの料金が不足している場合は抽選対象外とし、結果のご通知は致しません。**

※消えるボールペンのご使用は避けてください。抽選結果通知を印刷する際、熱により字が消えてしまいます。

※**当選後にチケットの枚数変更はできません。**

※**チケットの転売は禁止**します。転売発覚の際は公演イベントに該当者の情報を提供いたします。

2023年度 教育カレンダー贈呈

2023年度教育カレンダーを作成しました。
今年度も信濃教育会様にご協力いただき、長野県の児童・生徒の絵が入った12枚つづりの壁掛型デザインになっています。長野県内全学校へ順次お届けしています。校内では是非活用ください。



4 APRIL 2023

3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26
27	28	29			

公財財団法人 日本教育公務員弘済会 長野支部



5 MAY 2023

4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27
28	29	30	31		

公財財団法人 日本教育公務員弘済会 長野支部



6 JUNE 2023

5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28
29	30				

公財財団法人 日本教育公務員弘済会 長野支部



7 JULY 2023

6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29
30	31				

公財財団法人 日本教育公務員弘済会 長野支部



8 AUGUST 2023

7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30
31					

公財財団法人 日本教育公務員弘済会 長野支部



9 SEPTEMBER 2023

8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	

公財財団法人 日本教育公務員弘済会 長野支部



10 OCTOBER 2023

9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	

公財財団法人 日本教育公務員弘済会 長野支部



11 NOVEMBER 2023

10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27
28	29	30			


公財財団法人 日本教育公務員弘済会 長野支部



12 DECEMBER 2023

11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28
29	30				

公財財団法人 日本教育公務員弘済会 長野支部



1 JANUARY 2024

12	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29
30	31				

公財財団法人 日本教育公務員弘済会 長野支部



2 FEBRUARY 2024

1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	

公財財団法人 日本教育公務員弘済会 長野支部



3 MARCH 2024

2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	

公財財団法人 日本教育公務員弘済会 長野支部

新任校長・
新任教頭の皆様、
ご昇任
おめでとうございます



▲パーカー社製ボールペン

当会は、新任校長と新任教頭の先生方へ、ご昇任のお祝いを贈呈しています。今年度も、『パーカー社製ボールペン』をご用意しました。当会参事、または共済事業（提携保険事業）提携会社ジブラルタ生命保険(株)ライフプラン・コンサルタント(LC)が順次お届けに伺います。是非ご利用ください。

新採用の
教職員の皆様、
ご着任
おめでとうございます



▲uniジェットストリーム多機能ペン4&1

新採用の先生方へ、ご着任のお祝いとして『uniジェットストリーム多機能ペン4&1』を贈呈いたします。当会参事、または共済事業（提携保険事業）提携会社ジブラルタ生命保険(株)ライフプラン・コンサルタント(LC)が順次お届けに伺います。是非ご利用ください。

2023年度
教弘担当の
先生方へ



▲トートバッグ

2023年度教弘担当者をお引き受けいただき、ありがとうございます。1年間よろしくお願いいたします。お願いしたい内容につきましては、参事が伺いしてご説明させていただきます。ささやかではありますが、お礼といたしまして、『トートバッグ』をプレゼントいたします。

表紙写真・学校紹介

佐久市立青沼小学校

本校は、明治6年（1873年）に開校した要道学校、里仁学校に由来します。その後要道学校は明治9年（1876年）9月、地域の人々の教育にける熱い思いによって、太鼓楼の付いた洋風三層建ての校舎が建設されました。150年目を迎える本年は、閉校の年となります。

本校の学校教育目標は「かしこく やさしく たくましく」です。本校の教育の精神は、要道学校の太鼓楼の屋根を飾った「筆棒」や、校章の「ペンと剣」、そして、校歌の「(千曲川や浅間山の姿に)習わずや」等に象徴されており、「文武両道に通じる青沼の子どもの育成」を大事にしてきました。地域の人々は、自分たちを育ててくれたそんな青沼小学校を誇りに思い、大切にしてきました。その思いを大事に、地域との連携を豊かにし、

地域と共に学習する場を作ってきました。

地域の方を講師に招き、児童や保護者が地域の自然や文化、歴史を学ぶ「青沼共有学習会」。3年生はりんご農家の方からりんご作りを学び、4年生は入澤焼きの歴史をたずね、入澤焼きに挑戦し、5年生は米作り、6年生は地域の方から菊作りを学びました。閉校の年となった今年度は、さらに交流を広げ、運動会では全校での「大まどい」に、閉校記念式典音楽会では「校歌斉唱」に、地域の方が沢山参加していただきました。

4月からは、旧臼田地区の四小学校が統合となり、青沼小学校も新臼田小学校となります。青沼小学校や他の3校の思いが新小学校にも引き継がれていくことでしょう。



青沼共有学習会(全校)



入澤焼きを訪ねて(4年)



閉校記念式典(校歌を皆さんで)